

2018年度森林公園だより No.12 2018年7月22日

梅雨が明け、猛暑が続いています。園内にお越しになる際には、帽子、十分な量の飲み物、長袖、長ズボン（淡色がのぞましい）をご準備ください。

夏の主役である、クワガタムシ、カブトムシ、セミの仲間、などの昆虫たちでにぎわっています。イグチの仲間、ベニタケの仲間のキノコも顔をだし、花の少ないこの季節に彩を出してくれています。

時折、変形菌も見られます。森には不思議な生き物がたくさんいます。

この時期花は少ないですが、リョウブ、オオバギボウシ、ネジバナを見ることができます。

押し花教室は大変な盛況で、皆さん楽しんでおられました。

フォトグラム体験まだまだ募集中です。

親子昆虫観察会2、ツリークライミングを募集しています。

リョウブ



イグチの仲間



テングタケの仲間



変形菌の一種



樹液にやってきたミヤマクワガタ



樹液に集まるカナブン



ムカデもやってきます



押し花教室(作品例)



思い思いの作品を仕上げました



フォトグラム(植物を感光紙に乗せます)



フォトグラム作品例



一口メモ

梅雨明け直後を中心に、変形菌を見ることがあります。木の切り株が黄色に染まるススホコリなどは初めてみると衝撃的です。このような生き物は実は身近で数多く生息していますが、なかなか気づかれないのが現状です。